

受付番号	2021-51		
許可番号	大歯医倫 第 111203-0 号		
研究課題名	含嗽・舌清掃による若年者の舌表面細菌数への影響		
研究責任者	糸田 昌隆	申請者	糸田 昌隆
研究終了日	2024 年 3 月 31 日		
所属	医療保健学部 口腔保健学科	所属	医療保健学部 口腔保健学科
職名	教授	職名	教授

申請の概要

日本歯科医師会が 2016 年に実施した調査によると、「自分の歯や口の中について悩みや気になること」の第 3 位が「口臭」であり、アンケートに回答した 10 代から 70 代までの全ての世代で「口臭」が 5 位以内に入っていた。特に、20 代では「口臭」を挙げた人の割合が他の世代よりも高く、約 3 人に 1 人(34.4%)が「口臭」を気にしているということであった。進学や就職、結婚、出産など様々なライフイベントに直面する世代でもあり、他者からの評価に敏感になっていると考えられる。口臭は、生理的口臭、飲食物や嗜好品による口臭、病的口臭、ストレスによる口臭、心理的口臭などに大別されるが、女性はホルモンバランスの変化による口臭もあり、特に関心が高いと思われる。これまで、口臭についての研究は、高齢者や要介護者の舌苔除去効果や口腔細菌数の変化といった口腔衛生管理に焦点が向けられているものが多く、20 代の若年者に限定した研究は少ない。そこで、大学 3 年生を対象として、各種含嗽剤による含嗽、各種器具による舌清掃を実施してもらい、実施前後での舌表面の細菌数の変化と実際に感じたことの質問紙調査を実施する。20 代である対象者が実施することで、細菌数が減少し、口臭に効果があったと実感できる簡便な方法を明らかにすることで、20 代の口臭による心理的負担を緩和する一助になると考えられる。